

九月読み取りおけいこ③高学年

名前 ()

今年の中秋の名月は十月一日です。いわゆる「お月見」ですね。中秋の名月は農業の行事と結びつき、「芋名月」ともいわれ、五穀豊穡をいのります。平安時代に中国から伝わったとされ、今でも京都のあちこちでいろいろなお祭りがひらかれます。紹介してみましよう。

下鴨神社では名月管弦祭がおこなわれます。午後五時半から橋殿での神事のあと古式ゆかしい舞楽や十二単の平安貴族の舞など二時間にわたって奉納されます。ススキがかざられかがり火がたかれてなかなかのおもむきです。満月茶席で抹茶をいただくこともできます。(千円)

大覚寺では観月の夕べがおこなわれます。五時から八時半までです。平安時代の初め嵯峨天皇がここで舟遊びをしたのがはじまりで、舟にのることもできます。千円です。あと、抹茶をいただくなら千円、参拝料は五百円です。

神泉苑では観月会があります。六時から観月法要があり、七時から奉納演奏があります。庭園の特別公開もあります。

ところで「月々に月見る月は多けれど月見る月はこの月の月」という短歌があります。月は一年中見られるけれど特別美しいのは今月の月だという意味です。秋の空気はすみきって、月がくつきり見えるのです。

おでかけしなくても、晴れてさえいればどこでも月は見られます。あなたも家のベランダに月見だんごやススキをかざって俳句のひとつでもひねりだしてみてはいかがでしょう。自主学習のネタにいいかもしれませんよ。

なお、コロナで行事が中止になる場合がありますので確認してくださいね。音読サイン↓

① 何の話ですか？

② お月見でいえることはなんですか？漢字でぬきだしてみましよう。

③ 五穀とは何か辞書で調べてみましよう。

④ 大覚寺でお参りして抹茶を飲み舟に乗ったらいくらかかるでしょう？

⑤ 月々に…の歌には「つき」がいくつ入っていますか？

⑥ 大覚寺で初めに舟遊びをしたのはだれですか？

⑦ 十二単をなまで見たいときはどこに行けばいいのですか？

⑧ あっている文に○をつけましよう。

() お月見にはだんごを食べるだけでなく豊作をいのるという意味もあった。

() 神泉苑の庭も特別に公開される。

() お月様にはスズキをそなえる。

() お月見は京都でしかできない。

⑨ 上の文の感想を四行にまとめましよう。

できばえは？

